

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇
事業所名	小規模多機能型 居宅介護深沢	管理者	松田 悠一

法人・事業所の特徴

自分や家族・友人が利用したいと思うサービスを提供します。
通所・宿泊・訪問の3つを自由にその方にとって必要な支援を組み合わせてその時の体調や状況によって柔軟なサービスを提供しています。

出席者	市町村職員	1人	地域住民・地域団体	2人	利用者	人	利用者家族	人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	人	事業所職員	3人	その他	人	合計	8人
	知見を有するもの	1人	1人	2人	人	人	人	1人	人	人	人	人	3人	人	人	8人		

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価の改善計画の進捗状況を毎月の事業所ミーティング時に職員間で共有・確認し、計画を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の事業所ミーティングで事業所自己評価の改善計画の共有や・確認を行う事が出来ない月もあった。事業所評価は全職員で取り組むことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価において、職員からの意見が少なくように感じた。目標をどのように達成するか具体的にすることを評価しやすくなると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価の改善計画の進捗状況を確認する担当職員を決め、毎月の事業所ミーティング時に職員間で共有・確認し、計画を進めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者と一緒に季節の装飾の計画を立て、創作活動や飾りつけを行う。また、毎月の事業所ミーティングで評価していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者と一緒に季節の装飾の計画を立てる事は出来なかつたが、創作活動や飾りつけは、ご利用者と一緒に行う事が出来た。季節を感じて頂く装飾、雰囲気作りは実践することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に使用できる物や展示後に使用することが出来る物を作っても良いのではないか。 高齢の方は何かしたい、手伝いたいと思っっている人が多い為、その気持ちを尊重した活動を行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者と一緒に季節の装飾の計画を立て、創作活動や飾りつけを行う。ご利用者と一緒に装飾の評価をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターや地域の行事に、ご利用者と一緒に参加していく。 事業所として、地域の活動の中で出来る事をコミュニティセンターや町内会に発信し、介護教室等の開催に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターの行事や展示会にご利用者と参加する機会を頂いた。 地域の活動の中で出来る事をコミュニティセンターや町内会に発信し、介護教室等を開催することは出来なかつた。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターの行事に参加するなど、関係性が良いため、今後も現在の関係性を継続してほしい。 事業所として出来る事を発信する手段として地域の回覧版を使用しても良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターや地域の行事に、ご利用者と一緒に参加を継続していく。 回覧板を使用して事業所の紹介を行っていく。

<p>D. 地域に外向いて 本人の暮らしを 支える取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の関わりの中でつながらり を継続できようように訪問、送迎 時に近所の方と話す機会を持ち 関係性作りに努める。 ・個別ケアとして、地域への外 出を計画し、ご利用者の馴染 みのある場所や興味のあるそ うな場所に向向いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしのご利用者の近所の方 は、訪問、送迎時に話す機会はあった が関係性の構築までは出来なかつた。 ・地域への外出を計画し、ご利用者 の馴染みのある場所や興味のあるそ うな場所に向向くことは出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターでは、年 間行事カレンダーがある為、地域 の行事等の把握に活用していくと 良い。 ・地域への外出を計画し、ご利用 者の馴染みのある場所や興味のある りような場所に向向く活動は継続 してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の関わりの中であつながらり を継続できようように訪問、送迎 時に近所の方と話す機会を持ち 関係性作りを継続していく。
<p>E. 運営推進会議を 活かした取り組 み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの職員が運営推進会議に 参加する機会を作る。 ・事業所の支援事例を通じて、 地域の困りごと等の共有や検討 を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の取り組みや、事業所の支援事例 など、意見交換ができた。 また、管理者や介護支援専門員以外の 職員も参加することが出来た。頂いた 意見等は事業所内で回覧し職員間で情 報の共有を図った。 	<p>運営推進会議では、事業所の取り 組みがわかりやすく説明されてい る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職種や違う立場の方が出席する ことで、様々な視点から地域の課 題などが上がってくると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの職員が運営推進会議に 参加する機会を継続して作る。 ・事業所の支援事例を通じて、地 域の困りごと等の共有や検討を 行う。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が生活されている 地域の防災訓練に職員を参加 させて頂き、地域の災害時の 対応を知る。 ・事業所における防災訓練で 避難訓練の他に水消火器を使 用しての訓練等をご利用者と 一緒に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練に参加することは出 来なかつたが、運営推進会議で地域の 防災の仕組み等を教えて頂き、職員間 で共有することが出来た。 ・水消火器を使用しての訓練等をご 利用者と一緒に行うことは出来な かつた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターでは、地 域の防災訓練の日程等を把握して いる為、コミュニティセンターか ら情報を得て参加しても良い。 ・ハザードマップや防災に関する 長岡市が発信している地域の防災 利用者が生活している地域の防災 情報を把握することも必要だと思 う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしのご利用者の災 害時の対応や避難計画等をも とめた個別避難計画を作成す る。